

# かみ

議会だより

平成30年  
12月定例会  
第56号



**災害に克つ!!**

(救護所設置運営訓練)

## — CONTENTS —

- 新年のあいさつ（議長） 2
- 契約 4
- 請願 5
- 町政を問う（13人が一般質問） 6～12
- 視察研修報告 14～15
- この人 ここにあり 16

# 住民と共に歩む 議会を目指して



議長  
上田 勝 幸

町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をご家族おそろいでお迎えのこととお慶び申し上げます。

国では周辺の緊張を口実に防衛費年々増大の一面を歩んでいます。平和を愛し希求する一人として、大いに危惧するところです。

町民の皆さまには議会に対し、深いご理解またお叱りや励ましを頂き厚く感謝する次第です。

私自身、議長に就き早いもので一年半余が経過しましたが、住民の期待に対応できているか不安を感じることもあります。それは議会・議員に対する住民の不平不満を耳にすることがあるからです。

議会と住民が接する機会が少ないことが一因と思われませんが、議会傍聴に訪れ、一般質問・議案

審議等いろいろな面で議員が住民全体の代表として、住民目線で当局と議論を戦わせ、わたり合う姿を垣間見るなら、住民の不平不満は少しは解消されると思うのです。その意味において、町民の皆さまには機会があれば、是非議会傍聴にお越しいただきたいと思えます。

また、議会だよりは、当局と議会とが持つ情報を適確に提供し、住民と議会との距離を縮める、つまり、住民の負託に応えようとの気持ちで精魂込めた議会紙です。こちらも是非ともお読み下さい。必ず心に残る記事に對面するとおもいます。

香美町議会には、3常任委員会があり、各自の委員会が独自の方法で広く見聞を高め、視野を広げ、当局に提案・提言すべく先進地への視察研修をし、その成果を皆で共有するため、報告会を開催しています。

報告会には当局も参加し、喫緊の課題を摘出し、

その解決策をいろいろと議論します。

香美町議会は、二元代表制の一翼を担う機関として、住民の要求・要望に耳を傾け、住民に安心安全をもたらす施策、住民福祉の向上に努める施策の展開を行政に働きかけ、実現できるように最大限の努力をいたします。

今年で平成も終わります。今年度の船出が始まります。未来に希望を託しましょう。

議会に対する激励・ご支援、今後ともよろしくお願いたします。

町民の皆さまのご健勝とご多幸を、また更なるご活躍を祈念しまして年頭の挨拶といたします。



議長

上田 勝 幸

副議長

西谷 尚

議員

東 垣 典 雄

西 坂 秀 美

橋 秀 太郎

見 塚 修

山 本 賢 司

藤 井 昌 彦

西 川 誠 一

徳 田 喜 代 子

谷 口 眞 治

寺 川 秀 志

田 野 公 大

西 谷 高 弘

岸 本 正 人

森 利 秋  
(議席順)

## 条例

香美町中小企業振興条例を定めることについて

中小企業の振興を推進し、本町の経済発展と町民生活の向上を図るための基本理念を定めるものです。

問 県は平成27年に同様の条例を制定しているが、町長は熟知しているのか

答 香美町産業連携活性化協議会で協議して決めます。

問 検証と評価の具体的な方法はどのようなのか

答 金融機関、大学等教育研究機関も関係団体に加えるべきではないか  
答 必要があればオプザーバーとして参加していただきます。

討論・採決の前に動議が提出され、深く議論する必要があります。産業建設文教常任委員会に付託し、継続審議することが賛成多数により決定しました。

## 人事

### 人権擁護委員

次の方を人権擁護委員として法務大臣に推薦することに同意しました。任期は平成31年4月1日から3年間です。



香美町小代区広井  
井上 光男 さん

香美町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

平成30年8月10日付けの人事院勧告等により町職員の給与など改正する条例を全員賛成で可決しました。

①期末、勤勉手当の合計支給月数を4・40月から4・45月に0・05月引き上げ。

②国家公務員と同様に給料表を改定。平均0.2%初任給は1500円引き上げ。若年層についても1000円程度、その他は400円引き上げ。

### 質疑

問 国家公務員との比較でラスパイルズ指数は何%になるか

答 平成30年度試算は本町においては94・3%、昨年は94・7%であり0.4%下がりました。

美方郡広域事務組合の規約変更及び財産の無償譲渡について

美方郡広域事務組合（香美町と新温泉町が共同で事務をする組織）の事務のうち、美方郡農村総合研修センター（旧湯村家畜市場）の設置及び管理する事務を削除し、同施設をたじま農業協同組合に無償譲渡するもので、全員賛成で可決しました。

### 質疑

問 敷地の状況と施設の現在価格は

答 敷地はJA所有で施設の現在価格は1487万円、この価格は解体費とほぼ同額です。

問 進入路と構内道路はどうするのか

答 引き続き新温泉町の所有物で管理されます。  
問 施設内で保有している但馬牛等に関する重要書類・文献はどうするのか  
答 今後、兵庫県等関係団体と協議します。

指定管理者に下浜区

下浜区公会堂の指定管理者の指定について提案され、全員賛成で可決しました。

### 質疑

問 指定管理者となる下浜区は地域団体として法人格を持っているか  
答 持っていません。

### 指定管理者の説明

- 公の施設の名称及び所在地  
名称 下浜区公会堂  
所在地 香美町香住区下浜286番地の1
- 指定管理者となる団体  
名称 下浜区  
代表者 区長 駒居欣雄  
所在地 香美町香住区下浜864番地
- 指定の期間  
平成31年1月1日から  
平成33年3月31日まで



新築された下浜区公会堂

# 補正予算

## 守ろう!!子どもたちの学習環境!!

香美町幼小中学校(園)に  
エアコン整備費

### 約4億3,300万円

## 急げ!!自然災害復旧!!

9月の台風24号災害復旧費

### 約9,800万円

## 住民の命を守る!!

危険ブロック塀等撤去支援事業費

### 100万円

12月定例会には、台風24号の復旧に関する補正を含む一般会計補正予算と5特別会計補正予算が提案され、全員賛成で可決しました。主な質疑は次のとおりです。



小代小学校

教室の学習環境整備が主で体育館は必要と考えていません。  
**問 従来、災害復旧費の見積もりは、査定終了後、額をほぼ確定、予算計上の順との説明であったが、今回は考え方を変更したのか**

**答** 委託料をとり、査定を受けて、工事金額を計上するのが基本ですが、今回は、河川工事と合わせて林道工事もあり、緊急を要するもので査定前に提案しました。  
今後とも急ぐもの、工事期間、議会提案の時期を考えた上で査定前でも提案する手法も、とりいれたいと考えています。  
**問 危険ブロック塀等撤去支援事業費は、該当箇所を点検したのか、改修も含まれるのか**

**答** 大阪北部の地震により、児童がブロック塀の下敷きになり犠牲となっ

たことをうけて、危険ブロックの撤去に、総額の2/3、20万円を限度に補助するものです。  
点検はしていません。また、改修は含まれません。  
**問 香住小学校水道施設の漏水の原因と対策は**

**答** 雨水、地下水、上水道を自動に調整してトイレに流していたが、ヒューズ切れと故障していたため、上水道が大量に漏れたものであり、電動を手動にかえ、毎月の点検をしています。  
**問 北但西部森林組合出資配当金200万円減額要因は、一過性のものか**

**答** 近年、森林事業の減少、補助金減少等と昨年度特別に林業の補助金の返還がありましたので、一時的に減額となったものですが、今後事業収益向上に努力していくと聞いております。  
**問 介護保険事業特別会計補正予算**

**問 自立援助訪問型サービス事業給付費負担金261万1千円は、当初計画予算からの増加と要因は**

**答** 訪問サービス事業は、当初予算600万円でしたが、要支援一及び二の認定者が毎月平均5人増加し、724万円となったものです。  
重度化を防ぐため、早めに申請されたものです。  
**問 臨時職員、嘱託職員の退職等の影響は**

**答** 職員を各地域局に派遣するなど、支障のないよう対応しています。  
年々、専門職のケアマネージャーを確保することが、難しくなっています。  
採用に務めていきたいと考えています。  
**問 国民健康保険事業特別会計補正予算**

## 契約

八原井堰災害復旧工事の請負変更契約を締結

**問** 今回の24号台風で底がえぐられ被害が出た。今回示された工事で、本当に大丈夫か  
**答** 原形復旧に戻すことが目的である。兵庫県土地改良センターと協議しながら、技術的なデータを元に検討し、設計の内容は妥当だと国の災害査定官も認めているので大丈夫です。  
**問** 今回の24号台風で底がえぐられ被害が出た。今回示された工事で、本当に大丈夫か  
**答** 原形復旧に戻すことが目的である。兵庫県土地改良センターと協議しながら、技術的なデータを元に検討し、設計の内容は妥当だと国の災害査定官も認めているので大丈夫です。

## 請願

### 矢田川クリーンセンター解体撤去に対応策を求める請願

矢田川クリーンセンター解体撤去に関する「香美町が示している今後の対応策」は油良区として到底納得のいくものではなく、土地賃貸借契約書第5条「原状の変更」、第6条「原状の回復」について契約時の良好円満な関係を立脚した誠心誠意をもった円満解決こそが、唯一当区として了解可能な対応策であり、臨時総会の区民総意の決議事項を尊重した対応策を求めた請願内容。

## 討論

### 賛成討論 山本 賢司議員

油良区の契約は山林の一部で汚染エリアではないが、他の地権者のあいだでも同じ考えであろう。汚染土壌は撤去すべきである。「地権者説明会に区長が出ていたから区へ

の説明責任は果たした」として町長は説明をしないと云った。約束を守らない町政・議員は何をしているのかと言われ兼ねない。約束を守れというのが議会の役目である。

## 反対討論 西谷 尚議員

汚染土壌については、70年間毎日2ℓの水を飲み続けてその影響が出る微量なものであること。通常自然界の中に出てきてもおかしくない物質であること。  
該当土地の地下水及び付近の河川水においても検出が無いこと。  
とはいえ、そのまま放置したままでは問題がある。

行政は、土の入れ換えに何億単位の町税をつぎ込むより、町が買い上げ形質変更時要届出区域として、浸透・飛散防止の為のアスファルト舗装をし、柵をつけ立入禁止区域とし、住民の健康被害を防止する策を法律に基づいて行なうこと。また、



矢田川クリーンセンター跡地

## 賛成少数で不採択

## 賛成討論 谷口 眞治議員

私は皆さんにご理解いただくためには出された請願書をよく理解していただくしかないと思っております。油良区は信頼関係の中で、50年にわたり迷惑施設の受入を行ってきた。  
区の皆さんが何か特別なことを請願していませんか。元の土地に戻してくださいと当たり前のことではないかと感じています。これらを加味し、請願に反対する。

追跡調査も加味した上で該当の土地を買い上げることには正当性が見られる。地権者のほとんどの方は買い上げに対して何ら異議が無く、地権者にとってもメリットがあると判断できること。  
今回の請願には、行政側と区側との間に見解の相違があること。  
行政は説明責任をしっかりと果たすことが第一であること。  
この請願を通すことで将来的な行政運営にも支障が生まれかねないこと。これらを加味し、請願に反対する。

## 臨時議会

11月6日の臨時議会で9月30日に襲来した台風24号の被害を復旧するための一般会計補正予算が提案され、全員賛成で可決しました。主な質疑は以下のとおりです。

### 八原井堰の被災

平成29年の台風5号、18号、21号と次々に被災、災害復旧で破損箇所全体を工事契約。30年5月末までに第一期工事分(川幅半分の部分)を完成、6月10月までは出水期で工事を中断し、次の工事に備えていたところ、9月の台風24号で再び被災したものの。  
**問** 想定外の水量であったとのこと、洪水痕跡水位と水量はどれくらいか  
**答** 台風シーズンを迎えるにあたって工事現場の防災のための仮設はどうだったか

## 質疑

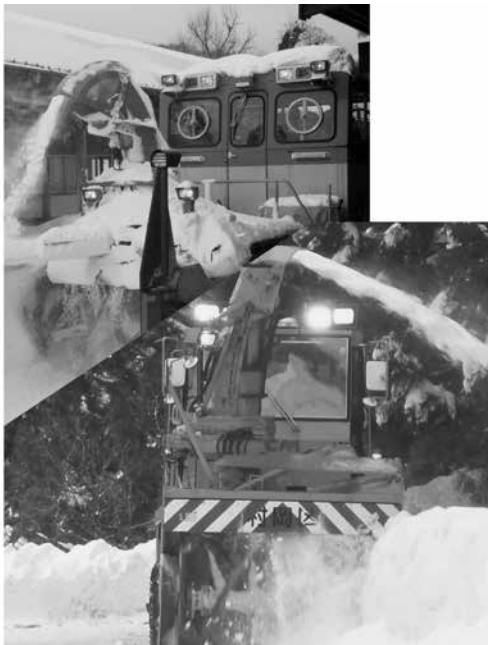
**問** 今回損壊した第一期工事部分、施工中の井堰の所有者、管理者は誰なのか  
**答** 事業自体は発注者が町であり全体的な責任は町です。  
町が発注し工事を行うもので施工中の責任は施工業者にあります。工事途上で業者の不注意等によって損害が生じた場合は業者の責任となります。  
**問** 今回損壊した第一期工事部分、施工中の井堰の所有者、管理者は誰なのか  
**答** 事業自体は発注者が町であり全体的な責任は町です。  
町が発注し工事を行うもので施工中の責任は施工業者にあります。工事途上で業者の不注意等によって損害が生じた場合は業者の責任となります。  
**問** 今回損壊した第一期工事部分、施工中の井堰の所有者、管理者は誰なのか  
**答** 事業自体は発注者が町であり全体的な責任は町です。  
町が発注し工事を行うもので施工中の責任は施工業者にあります。工事途上で業者の不注意等によって損害が生じた場合は業者の責任となります。

# 町政を問う

12月定例会での一般質問は、12月17日と18日に13人の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問の記事は、質問した議員の責任において作成したものです。



望・万全の除雪体制



二十世紀梨の承継者育成を

## 二十世紀梨の承継者育成待ったなし 実現に向けて検討します



寺川 秀志 議員

二十世紀梨の生産農家は、高齢化で先細り傾向にあると理解している。また現在の作業環境は急傾斜地での作業であり、新たな生産農家の増加は望めず、衰退の一途をた

どる事が考えられる。生産者は、自分たちが指導者になり、新たな生産者を募集する研修制度をつくり、移住者を募集し、承継者への道筋をつけるべきとの考えを持っている。事業実現のため町・JA・生産者が連携して取り組むべきだ

町長 香住梨は、香美町を代表する特産物ですが、高齢化などで梨産地

としての維持を図る上で、栽培面積の拡大や新たな担い手の確保、育成が困難な状況で、大きな課題となつていきます。ご提案の研修制度については、研修期間中の住居の確保や生活支援対策、研修終了後の承継園地の調整など問題があります。今後、夢と展望のある香住梨産地づくりに向けて、JAなど関係機関としっかり連携します。

## 豪雪・道路除雪とJR運行体制は!! 町内30業者対応・JR運休縮小に挑戦します



見塚 修 議員

昨シーズンは2年続けて2月期に大雪が降り、香住区においては、道路

交通のマヒとJRの運休により、日常生活はもとより観光産業に大きな影響があった。これからの降雪期を迎えて道路等の除雪体制とJRの運行体制は万全か伺う。

又ドクターヘリと救急車のランデブーポイントは昨年の香住区ではBG横

だけであったが、今冬から佐津ICと大野ラインボー跡地も利用することとなったが、除雪は万全か

町長 道路除雪は30業者に依頼し、15cm以上の積雪が見込まれる時に、朝8時完了を目標に出勤

することとし、異常気象時は業者相互協力体制等の臨機対応もします。JRの運行体制については、豊岡市・新温泉町とJR福知山支社に出向き要望。昨年の経験を踏まえ除雪要員、ラッセル車運用等で運休区間の縮小に挑戦することです。又ランデブーポイントの除雪は佐津ICを県土木、大野を町で対応します。



朝倉高きゆかりの内倉洞窟（ドローン撮影）

香住沖海戦は、住民の皆さんが、命がけて沈没した船の乗組員の命を助けた。

村岡には、全国の荘園の6分の1を所有した山名氏が代々住んだ陣屋跡



藤井 昌彦 議員

## 歴史をふるさと教育へ 重要と考えています

がある。

小代には、越前朝倉氏竹田城主太田垣氏の祖となる朝倉高清が、隠れ住んだ内倉洞窟、そして子孫が秀吉の但馬侵攻に対して、家族のため、城を枕に徹底抗戦した小代一揆がある。

自分のルーツを知ることとは将来、試験時に必ず役立つ。更なる郷土歴史をふるさと教育にシフトすべき

今後歴史、文化をふるさと教育に積極的に進めていく、調査・研究・普及・啓発に努めたいと考えています。

**教育長**

各校区で延べ9回、320人に郷土の歴史、文化を説明しています。



せめて部活動が選べる環境を



西川 誠一 議員

## 中学校で部活が選べない現状は？ 保護者は統合の要因とされます

今年、運動部活動に関する指針がスポーツ庁より出され、中学では休養

日を週2日以上とし、1日の活動時間を平日2時間、休日3時間程度までとされた。町内中学校の現状はどうか。

また、町内四中学校で数年の間に生徒数減少により、7部活動が廃部となった。教育的意義を持つ部活動を生徒が選べな

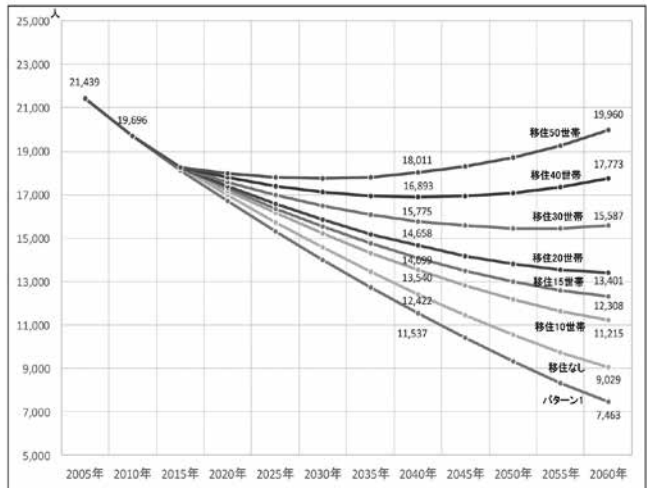
い現状に対して町はどのような環境整備（統合等）ができるのか

**教育長** 指針が出された後、「香美町版いきいき運動部活動」を作成し、各中学校に周知しました。以降は、大会やイベントの参加の準備の期間を除

いて指針に示すとおり実施できています。

中学校の部活動は、教育過程外の活動ですが、思春期の生徒が心身ともに健やかに成長するためになくしてはならない活動だと言えます。部活動が選べない現状は学校統合の要因ですが、そのための統合は考えていません。

■町独自推計



人口減少が止まらず（香美町人口ビジョン）

## すすむ人口減少どうするか!! 転出人口の抑制対策をすすめます



東垣 典雄 議員

全国の市町村がそれぞれ魅力と施策を発信し、移住定住希望者をどう獲

得するかであるが、移住定住の目標達成は、

10月1日の本町の推計人口は策定されている人口ビジョンの目標を下回る1万6802人と発表されているがどう思うか。移住定住の施策、空き家バンクへの登録件数が少ない、登録件数を増やす

ため登録奨励金制度の創設はどうか

町長 移住定住は目標達成に向けて一定の成果をあげつつあります。人口ビジョンについては加速度的に人口減少が著しく、見直しを迫られています。

移住定住ばかりでなく町内から転出する人口を抑える取り組みをします。また、一旦は転出した子弟の方々にも帰って来て頂くUターンの施策を展開していきます。空き家バンクへの登録は奨励金でなく所有者のライフスタイルにそい、課題をクリアする取り組みを検討します。

## 消費税増税、営業とくらしどう守る 国策を注視、できる対策をとる



山本 賢司 議員

来年10月、消費税10%への増税、食料品等8%に据え置き、ポイント還元、プレミアム商品券、自動車、住宅等の減税、4年後にはインボイスなど、営業とくらしに大き

な影響が起ると見える。増税の半分は、社会保障子育て支援拡充に当てるというが、社会保障の自然増を切り込む負担増と給付減、これをよしとするのか。町内事業者の実態、非課税事業者のインボイスへの対応などは？

町長 国の社会保障充実、低所得の高齢者支援の動向を注視します。商工会員のアンケート調査で、キャッシュレス化への対応を一月中にはまとめたい。インボイスは適格請求書等保存方式と言い、免税事業者も登録し発行すると見ます。社会保障制度維持のための改正は必要で、国の制度に追隨していきます。

消費税込から30年、税収は372兆円、法人税減税は291兆円、こんな税制はいけない

この税率、何？

### どうなる「ポイント還元」

高級ステーキ店	シェフのおまかせコース (3万円、税・サービス料別) × 2人分	ポイント還元 3000円分
ファミレス	ミラノ風ドリア (税込み299円) 半熟卵 (税69円) ほうれん草のソテー (税189円)	0円分 (大企業のため)
高級テーラー	オーダーメイド シングル上下 50万円 (一例、税別)	2万5000円分
紳士服量販店	3ピース2ボタンスーツ 1万9500円 (一例、特価品・半額)	0円分 (大企業のため)



「汚染をなくして元に戻してほしい」は至極当然の願い

11月26日に町長に提出された油良区の矢田川クリーンセンター跡地の土



谷口 眞治 議員

## 油良区の請願に誠心誠意の対応を！ 町の考えを説明して理解を求めます

環境汚染問題の対応についての請願にどんな対応を考えているのか。地権者説明だけで、地元住民への説明はしないという姿勢が問題ではないか。区が総会で決議した意味は大変重く、区が求めている請願に町の誠心誠意の対応が必要ではない

か。町長の所見を問う  
町長 油良区への説明は、区から求められて油良区の臨時総会で行い、ご意見をいただいています。油良区へは、地権者説明会で、山林所有者である油良区長に説明し、説明をしたものと考

えています。町の対応策が油良区に受入れていただけず請願が出されたが、町全体の施策の中で一番最適な視点での対応について、しっかりと説明をしなければなりません。油良区の皆さんの考え方だけでなく、油良区の方でできるものではなく、今後油良区の方と様々な協議を踏まえ説明していきます。



小学校でのALTとの英語活動



徳田喜代子 議員

## 幼小中一貫の英語教育の実施を 英語力向上のため就学前を含めて進めます

2020年度から全面实施される小学校3年生からの英語教育、5年生での教科化について本町では先行して本年度より導入しているが、次の項目について伺う。

①3・4年生は年35時間、5・6年生は70時間に拡充して先行実施し、ALTを2名増員し5名を小中学校に配置。小学校ではALTを活用した授業を週1回行い、

①小学校の英語教育とALTの配置・拡充の効果  
②児童生徒の英語検定  
③幼小中一貫の英語教育の展望、英語特区へのチャレンジ

ネイティブな英語に接することでモチベーションを高めています。②中学校で3級合格者も増えつつあり、3級50%を目標にしています。③英語特区の指定は受けていませんが、小学校に英語専科や地域人材を活用した英語教育支援充実事業を行い、就学前を含めて進めます。





こわすのはもったいない福岡保育所



地域活性化の起爆剤となるか！

公共施設個別施設計画の策定の中に福岡保育所は統合に伴い、建物等は



西谷 高弘 議員

## 福岡保育所の利活用は直ちに解体撤去はしません

解体撤去するところがあるが、地元住民の皆様から「福岡保育所を壊すのはもったいない、何か利活用することは出来ないものだろうか」と話をよく聞く町として利活用する考えはないか。また今後個人、団体で希望者があるなら行政としてどのような対

応や支援をするのか、具体的な考えはあるか  
**町長** 直ちに解体撤去するのではなく、各課へ利活用の意向調査等を行った上で決定する考えです。施設を利用された団体、あるいは福祉団体さまざまな形の中で提

案があれば、町としても現状のままその団体が利活用していただくと言う事であれば検討いたします。  
 ただ、全部町に負担が回る事ではなく、さまざまな補助金なりを活用し、町も何らかの支援が必要とあればできる範囲でさせていただきます。



西坂 秀美 議員

## 中小企業振興条例は具体的に基本理念を定めています

中小企業の振興は町にとって重要な課題だ。地域の実態を把握するため何を行ったか。子育てや介護支援等を配慮したワーク・ライフ・バランスに関する取り組みや、

災害発生時には人・機械・資材調達等に町民と互いに助け合う。各種団体の役割に金融機関は、資金面だけでなく、様々な支援ができる重要な機関だ。教育機関は職業に関する理解や将来、地域での就職につなげる役割を担う。これら

組みはできておりません。この条例は、地域経済と雇用を支える中小企業の持続的な発展を目指すものです。中小企業の自助努力を支援し、地域ぐるみで本町の振興を図っていくことで、子育てや介護支援等に配慮した働き方改革を促し、災害発生時には町や町民と互いに助け合うことへ広がっていくことに期待したいと考えております。



がんばっています

臨時職員の一日の労働時間は7時間45分で、日給6900円。県の最低賃金が6750円に相当する。日給で150円多いだけだ。雇用期間は6か月更新で、最長3年間



岸本 正人 議員

で一旦解除となる。本来すべて正規職員で対応すべきを非正規職員にお願いしている業務が多い。ぜひ、募集したら応募が十分あるような賃金体系等を整えるべきだ。市民の皆さんに「人手不足でごめんなさい」などはないようにすべきだ

**町長** 現時点で最低賃金を十分クリアしているとは言い難いですが、今

後も見直しを行います。なお、法律の改正が行なわれ、20年4月から会計年度任用制度が創設され移行します。移行後の取り扱いにつきましては、現在検討中です。ご質問の賃金面や雇用期間等についても、国においても改善の方向性が示されていますので、議会への条例提案等により、説明及び審議をお願いさせていただきます。

## 非正規職員の待遇改善を図れ！ 適正に雇用するよう努めます



香住病院内にある病児保育室「おひさま」



橘 秀太郎 議員

香美町の子育て施策について、①病児保育事業についてより情報提供を

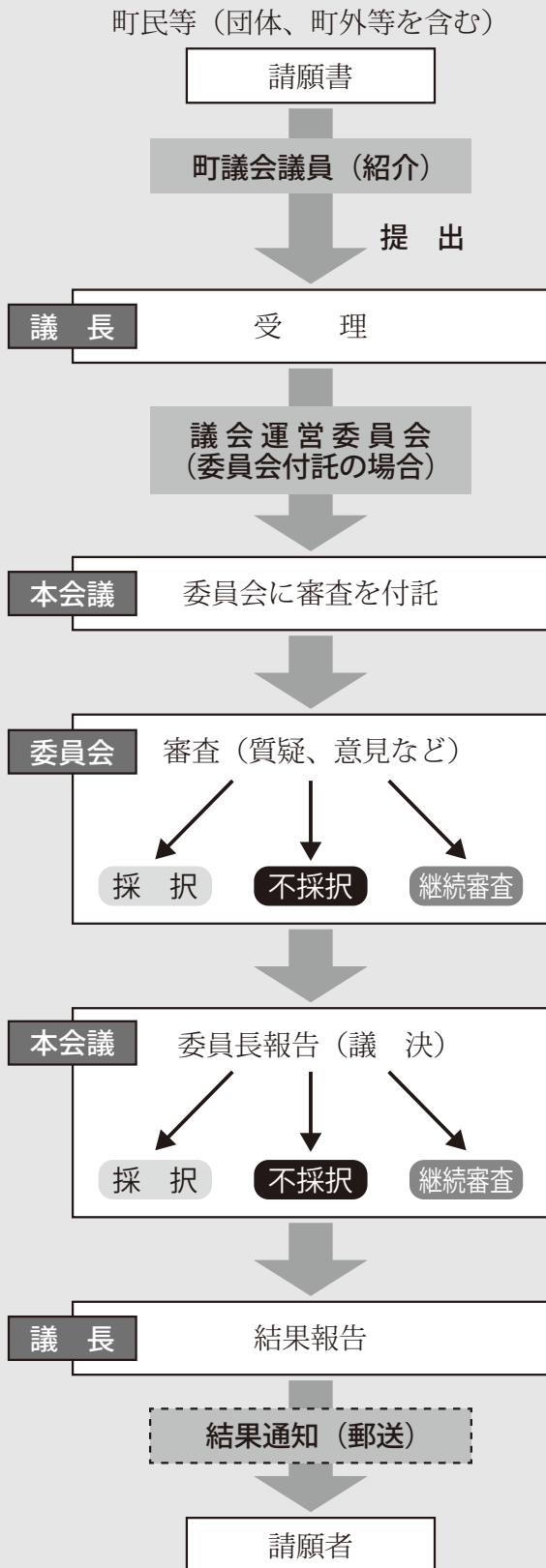
## 子ども・子育ての各施策は 各施策ともに鋭意取り組みます

し、周知させること②地域で子育てをするファミリーサポート事業について事業を周知させ、今後検討すること③幼児期・学童期における教育において、しっかりとした体力づくり、基礎学力の強化(特に国語教育)が必ずと考えるが、教育長の

考えは  
**教育長** 今年度から香美町で開始した病児保育事業はまだまだ利用者も少ないため、利用しやすいよう情報提供に努めます。また、ファミリーサポート事業は、今後ニーズ調査を行い、それをふ

まえて検討してまいります。子ども教育に関しては、継続・計画的な体力づくりに加え、英語とともに基礎学力(国語力・計算力等)の強化もしっかりとしていきたいと考えています。

# 請願の一般的な流れ



P 5で掲載しました「矢田川クリーンセンター解体撤去に対応策を求める請願」は、一般的な流れのとおり、審査・審議を経て、採決した結果を請願者である「油良区」に対して通知しました。



使い方次第で様々な活用が期待出来る。早期導入を望む。



西谷 尚 議員

全国的に見ても、今年  
は本当に災害の多い年であ  
った。災害時対応を含

め、近年ドローンの注目  
度は高まっている。それ  
は、将来において災害対  
応・医療・宅配・建物管  
理・観光宣伝等の活用が  
見込まれている。  
災害においては、人が  
立ち入ることが出来ない  
場所の映像や被害状況を  
安全により早く確認でき

る。自然調査（農林水  
産）においても、広い面  
積や急な海岸等の現地調  
査などが簡単に確認・分  
析が出来る。本町におい  
ても、ドローンの導入・  
各課の活用が必要と考  
えるが

町長  
ドローンにおい

**災害を含めドローン導入を望む  
各課にて活用が可能か検討します**

では、災害応急対策活動  
における協定書を町内企  
業2社と締結しています。  
操縦等、役場の職員を  
育成するのは難しい面も  
ありますが、新しい機器  
導入の視点は大事だと思  
っていますので、まず  
各課でドローンの活用は  
あるのか、幹部会議で諮  
りまして、役場で検討し  
てまいりたいと思います。

# 一般質問 その他こんな質問もしました

質問議員	質問項目	質問議員	質問項目
寺川 秀志	香美町の明るい未来、みんな元気で、活気ある町づくりに思いを紡ぐ 道案内の充実 ・ジオパークと海の文化館への入館者の増加について 香美町の明るい未来、みんな元気で安全・安心に思いを紡ぐ ・外出支援サービス（介護タクシー） 利用者の書類統一化について	山本 賢司	・農業は国・地方の基礎、どう支えるか、所得保障のしくみを ・県立国際観光芸術専門職大学をどう活かすか
		徳田喜代子	・香美町のインバウンド対策について
見塚 修	このまちに住むことに誇りを持ち、より豊かな住みよいまちづくりを求めて（Part7） ・活力、安心・安全編 稲作水田、転作水田（農地ダム）に荒廃防止・防災・減災奨励金を支給することについて伺う ・安心・安全・教育編 看護師不足の解消対策（確保・養成）について伺う	谷口 眞治	・戦後の漁業制度をひっくり返す「漁業法」大改悪について、町長の所見を問う ・使用済み核燃料の最終処分地選定説明会について、町長の所見を問う
		西坂 秀美	・英語の教科化について ・有害鳥獣対策について
		西谷 高弘	・子育て支援について ・公共交通道路について
藤井 昌彦	・観光施設について	岸本 正人	・地域おこし協力隊の積極的活用について問う ・町主催の式典等における来賓等の紹介方法について問う
東垣 典雄	・移住定住に繋がる魅力ある子育て環境の創設を問う	西谷 尚	・総合防災訓練における課題は何と考えるか

## 12月定例会では、次の議案も審議し、いずれも全員賛成で可決しました。

- 香美町区集会所条例の一部を改正する条例を定めることについて
- 香美町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて
- 香美町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて
- 平成30年度香美町一般会計補正予算（第8号）
- 平成30年度香美町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）
- 平成30年度香美町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 平成30年度香美町公立香住病院事業企業会計補正予算（第3号）
- 平成30年度香美町水道事業企業会計補正予算（第4号）
- 平成30年度香美町下水道事業企業会計補正予算（第4号）

## 議案の審議結果

※賛否が異なった議案のみ表示しています。

議案名	議員名																
		東垣 典雄	西坂 秀美	橘 秀太郎	見塚 修	山本 賢司	藤井 昌彦	西川 誠一	徳田喜代子	谷口 眞治	寺川 秀志	田野 公大	西谷 高弘	岸本 正人	西谷 尚	森 利秋	上田 勝幸
議案第130号	動議 議案第130号香美町中小企業振興条例を定めることについてを産業建設文教常任委員会へ付託	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	欠	—
請願第2号	矢田川クリーンセンター解体・撤去に関して「香美町が示している今後の対応策」は油良区として到底納得のいくものではなく、土地賃貸借契約書第5条「原状の変更」、第6条「原状の回復」について契約時の良好円満な関係に立脚した誠心誠意をもった円満解決こそが唯一当区として了解可能な対応策であり、臨時総会の区民総意の決議事項を尊重した対応策を求める請願について	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	欠	×	×	×	欠	—

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長は採決に加わりませんので「—」で表示していますが、可否同数で議長採決となった場合には、○または×で表示しています。

### お詫びと訂正

前号（第55号）、4ページ生涯学習課「答」の記事に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。「地区公民館長は週35時間勤務」と記載しましたが、正しくは「地区公民館長は非常勤勤務」です。

# 協働のまちづくり、主役は町民！

## 総務民生常任委員会

委員長 徳田喜代子

少子高齢化、過疎化・核家族化が著しい本町では、地域自治組織の再生や持続可能な活力あるまちづくりへの取り組みが重要な政策課題です。これらの課題と展望を考察するために地域自治組織、子育て支援・移住定住対策の先進地、鳥取県日南町と岡山県和気町

の視察研修を行いました。

### 自主運営型の「まち協」

高齢化の進む日南町では、自治会機能の低下による様々な課題解決に向けて旧中学校区にまちづくり協議会（まち協）を設立し、拠点の各地域振興センターに事務長や地域担当職員、集落支援員を配置し、一括交付金制度等の行政支援も充実し、地域資源の活用等、特色ある自主運営型の活動で地域が活性化しているとの話でした。



日南町での研修

住み慣れた地域で暮らし、中心地に機能を集中させるコンパクトヴィレッジ構想により、巡回バスやデマンド・タクシー助成等公共交通を充実させ、住民本位のまちづくりがなされています。

### 英語特区で移住の促進を

和気町は少子化や人口減少の対策として「町内の若い世代を引き留め、町外からの移住を促進する政策」を打ち出し、教育を地域創生の柱に英語特区の取り組みを進めています。ALTを増員し、幼稚園から小学校、中学校に至る幼少中一貫の英語教育を実施して、無料の英語公営塾を開催し、英会話・英語検定にも対応しています。

平成29年度の66世帯、120名の移住者の内、子育て世代が7割にも上り、魅力ある子育て支援が移住定住対策と相乗効果を生み、成果へと繋がっていると考えられます。

### 視察研修を終えて

報告会では、協働のまちづくりはリーダー養成や地域との話し合い、他市町との差別化を図り魅力ある施策の展開が必要として町へ提言しました。

# 香美町民の皆様には議会の様子を分かりやすくお知らせします！

## 広報公聴常任委員会

委員長 寺川秀志

研修目的 先進地を訪問して、研修することによりよい「かみ議会だより」をつくるために役立つことを目的としています。

研修地 広報公聴常任委員会では、年に1回研修を行っています。30年度は、兵庫県町議会議長会主催の議会広報研究会、鳥取県日吉津（ひえづ）村議会広報広聴常任委員会視察研修に行っていました。

### 議会広報研究会

基調講演では「広報紙の編集のポイント」と題してグラフィックデザイナーの長岡光弘氏の講演を聞きました。主な講演の内容は、● 広報紙の媒体特性を知る。● 広報は

記録でない、読んでもらうだけの資格をもって編成する。● 読み手の思いを付度すべきである。● 複数紙面による情報のストーリーの演出ができる。● 住民に分かりやすく情報訴求するための紙面構成を。● 住民参加の紙面企画などを示唆に富んだ講演を聞く事ができました。

### 日吉津村議会広報広聴常任委員会

日吉津村議会広報紙は、平成29年度全国市町村議会広報コンクールで編集・デザイン部門で奨励賞を受賞されました。

紙面の特出した内容は1. 企画記事では、タイトルを「村民インタビュー」とし、広く住民

# 農業遺産認定をいかに活かすか！

## 産業建設文教常任委員会

委員長 橋 秀太郎

世界農業遺産及び日本農業遺産は、長い間継承されてきた独自性のある、将来に受け継がれるべき農林水産業システムを認定する制度です。

香美町では百年以上続く牛籍簿など美方郡産但馬牛を造り上げた育種改良技術の世界・日本農業遺産の認定を目指しています。

### 認定後に地域振興を

石川県能登地域は、日本で初めて世界農業遺産に認定された地域であり、日本海側の似通った土地柄である能登地域を視察することで、認定に向けての参考にするとともに認定後に農業遺産をどのように地域活性につなげ

### 認定への道のりは

能登地域の認定は日本初ということもあり国連大学、農水省などの全面的なバックアップの元で認定へとつながりました。現在、本町の取組みは日本農業遺産の一次審査を無事通過したところであり、今後は二次審査、世界農業遺産認定の申請へと進むこととなります。ジオパークと異なり、認定取り消し制度自体がないため、いかに農業遺産としてのレベルを保つことも重要となります。

### 6次産業化へ繋げる

石川県羽咋市では、行政が主導して『がんばる



6次産業化へ向けて（羽咋市）

羽咋創生プログラム」を策定して、道の駅を中心に経済循環システムを構築し、自然栽培普及を中心とした農業の成長産業化の取り組みをしており、これらをいかに農業振興に役立てるか先進地事例を視察しました。

### 視察研修を終えて

視察研修を終えて、委員会ではまとめとして次のように報告しました。● 農業の抱える問題は全国同じような問題が多くみられるが、農業遺産認定という一つのきっかけによりその地域に住む人達がそのことを誇りに思い、自信を持つことが大切で、また認定が叶った際には認定推進協議会の構成町である香美町・新温泉町がしっかりと足並みをそろえて情報発信し、最大限活用していくべきで、今後の仕組みづくりを真摯に取り組んでいただきたいと考えます。

い分かりやすいレイアウトになっている。

### 視察研修を終えて

日吉津村の議員一人ひとりの考え方や、また、委員の制作に取り組み姿勢・意識が素晴らしい。今回の研修は、意義ある研修であった。賞を取るために委員会活動を行っているわけではないが、何が大事かじっくりと考えることの大切さを知る事ができた研修であった。



よりよい「かみ議会だより」をつくるため意見交換

# ふるさとみらい

(村岡区)

今回は、村岡区村岡「むらおかこぶし園」の施設長として地域に根ざした介護サービスの提供をと頑張っておられる山根直美さんにお話を伺いました。



山根 直美さん

施設長就任はいつからですか

平成18年の開設から主任相談員として勤務し、平成27年4月1日より現職です。

施設長としての活動は入居者の皆様が安心して過ごせるように、また職員が健康で働き続ける

職場であるよう努めています。

具体的には、満足いただける介護サービスが提供できているか確認したり、施設の環境整備を行ったり、時には介護現場で助っ人をしたり、何かと忙しくしています。

**私達が目指す介護サービスは、入居者が、最期まで自分らしく生ききっていただくこと。**

日々の活動の中で、苦勞(悩み)はありますか  
職員は、365日24時間態勢で勤務しています。自身の時間を大切に、家庭や子育て、地域の役割等とも両立できるように皆の意見を聞きながら工夫して取り組んでいます。

介護施設の運営は色々な課題があると思います

超少子化・人口減少に  
議会にひと言願います

議員の方々が様々な視点で、この町のことを考え議論されていることに

よる担い手不足はより深刻な状況になっていきます。職員の確保・育成は最大の課題と考えます。一方、入居待機者やシヨートステイ利用者の状況をみると軽度の方が増え、重度の方が減少している傾向にあります。それらを踏まえ施設の運営には、5、10年先を見据えた事業展開を考えていかなねばなりません。

敬意を表します。中々傍聴に行けないので、議会だよりを拝読して、学ばせていただいています。



ご家族と秋の集い 焼き芋



保育園児と交流会

## 地域とのかかわり

施設内 「夏のつどい～むらおかこぶし園遊会～」  
「介護技術講習会」  
「介護サポーター研修」  
「福祉セミナー」

地区公民館 「出張介護予防教室」

村岡中学校 「介護出前授業」

など積極的に地域に出向いている。その他様々な交流事業を計画している。

また、平成29年に職員有志が「踊り同好会『鼓舞志』」を結成し、地域に『鼓舞志』の元気を届けようと練習に励んでいる。

## 編集後記

今年も亥年。亥年生まれは長所は、猪突猛進で何事にも真つ直ぐに我が道を進んでいく強い意志をもっている。そのため、周りからは「自分の意思をしっかりと伝えてくれる人」と信頼されまます。どんな困難があろうと、自分の意思を貫こうとする信念と、地道に努力し、目標を達成していくタイプです。正義感が強く、弱い人がいれば助ける優しい心と、悪にも怯まない強さで周囲からはリーダー的存在として頼られます。私達議会も町民の皆様のためにそうありたい。本年もよろしくお願いたします。

(N)

広報公聴常任委員会

委員長 寺川 秀志  
副委員長 西谷 高弘

委員 東垣 典雄  
見塚 修  
藤井 昌彦  
西川 誠一  
西谷 尚

編集 西谷 尚